平成29年度　専門部会の活動について

資料２

|  |  |
| --- | --- |
| 部会名 | 就労支援部会 |
| 目　的 | 障がいのある方の就労に関する課題を共有し、改善策の検討及び実現に向けた取組みを行う |
| 役割・内容 | 障がいのある方の職場定着に向けての具体的な取組みについて検討する |
| 部会員 | 自立支援協議会委員：中村委員（部会長）、池田委員、大野委員、中村章次委員関係機関：静岡障害者職業センター、静岡市発達障害者支援センター |
| 活動内容 | 第1回部会～第3回部会については平成29年度第1回自立支援協議会で説明済みのため、第4回以降の部会について報告する。○第4回部会：平成29年8月31日9月15日の就職面接会等の情報提供（ハローワーク）富士圏域ジョブマッチング会議視察の振り返り、意見交換就労系事業所のネットワーク作りについて第3回ゆうやけ相談会の振り返り○第5回部会：平成29年9月26日第4回ゆうやけ相談会の開催打ち合わせ就労移行支援事業所プレゼンテーション開催についての意見交換○第6回部会：平成29年12月26日就労移行支援事業所マップの作成について就労移行支援事業所説明会（就フェス）の開催について第5回ゆうやけ相談会の開催打ち合わせ、過去4回の振り返りゆうやけ相談会○第4回：平成29年11月16日（木）○第5回：平成30年2月22日（木）予定いずれも5風来館4Ｆで午後5時～午後8時　開催。 |
| 今後の予定方向性など | 就労移行支援事業所説明会（就フェス）の開催。事業所と企業を結びつける場所として、相談支援専門員や保護者への周知の機会として開催する。圏域内の就労移行支援事業所が力をつけていけば企業の雇用率や定着率は高まるはず。ゆうやけ相談会の実施内容の精査と検証を行う。 |

平成29年度　専門部会の活動について

|  |  |
| --- | --- |
| 部会名 | 相談支援事業評価部会 |
| 目　的 | 　質の高い相談体制を整備し、相談支援事業の充実・強化を図る |
| 役割・内容 | ①市相談支援事業の評価基準・評価方法の検討②事業者評価の実施 |
| 部会員 | 自立支援協議会委員：池田委員、斉藤委員、飯塚委員、畠山委員関係機関：わだつみ、静岡市身体障害者団体連合会、静岡市静岡手をつなぐ育成会、静心会オブザーバー：各福祉事務所障害者支援課、地域リハビリテーション推進センター |
| 活動内容 | 平成29年度相談支援事業評価　対象事業所　身体相談支援事業所　３事業所※自己の業務の振り返りとして、自己評価シートについては市内全11事業所を対象とした。１．第１回部会（H29.10.17）　事業評価の実施体制や評価項目、評価シート等について協議→確認事項：アンケート内容は、市内11か所の相談支援事業所で一回りヒアリングを　　　　　　　　　実施するまでは内容を変更しないこととした。２．被評価事業所へのヒアリングの実施（H29.12.12～12.21）　事業所から提出された各種シートや利用者アンケートの結果等について、各事業所を訪問し、相談室を利用してヒアリングを行った。３．第2回部会（H30.１.22）　総評シートの作成　来年度の事業評価実施方法について検討（詳細は参考資料１「平成29年度相談支援事業評価」を参照） |
| 今後の予定方向性など | ２月　平成29年度対象事業所に対する評価結果・自己改善計画の通知３月　自己改善計画の提出 |

|  |  |
| --- | --- |
| 部会名 | 権利擁護・虐待防止部会 |
| 目　的 | 障がいのある人の権利擁護・虐待防止を図るため、関係機関と連携した対応を協議する。 |
| 役割・内容 | ①権利擁護・虐待防止に関する普及・啓発策の検討②虐待事例の情報共有及び検証③障がい者虐待の早期発見、再発防止策の検討④障がい者差別解消に係るネットワークの構築、取組みに向けての検討 |
| 部会員 | 自立支援協議会委員：原田委員、渡邊委員、中村文久委員、飯塚委員関係機関：ひまわり事業団ピアサポート　李氏、社会福祉士　安藤氏 |
| 活動内容 | １　障害者差別解消支援地域協議会について地域協議会のあり方について部会で検討を行う。1. 平成29年度第１回（H29.6.14）
2. 平成29年度第２回（H29.7.6）
3. 平成28年度から4回にわたり検討を重ね、協議会のあり方について、部会としての案を作成し、8月28日開催の平成29年度第２回静岡市障害者施策推進協議会に検討結果を報告した。

２　事例検証会議（年度内実施予定）　　　外部講師による障害者虐待の全国的な現状等について研修会を予定 |
| 今後の予定方向性など | １　差別解消支援地域協議会* 協議会の在り方について意見取りまとめ報告済み。（部会としての検討は終了）
* 平成30年度は、市において協議会を立ち上げ、具体的な事例等を踏まえた協議を行っていくこととなった。

２　成年後見制度について　　　　制度運用状況、課題解決に向けての提案等、部会の意見をとりまとめ、市の動きを確認しながら、再度働きかけていく。 |

平成29年度　専門部会の活動について

平成29年度　専門部会の活動について

|  |  |
| --- | --- |
| 部会名 | 地域生活支援部会 |
| プロジェクト名 | 強度行動障がい者支援施設サポートプロジェクト |
| 目　的 | 障がいのある人の地域生活を支援していく上での地域課題について、相談支援事業における事例等を通じて把握し、不足している仕組み・社会資源を満たすための方策を検討する。具体的な課題として「行動に課題のある人への支援」をテーマとし、支援について検討する |
| 役割・内容 | 「行動に課題のある人への支援」として、強度行動障がい者をサポートする施設の対応能力の向上を図る施策を検討、実施する |
| 部会員 | ・自立支援協議会委員遠藤委員、檜垣委員・関係機関静岡市障害者相談支援推進センター　堀越氏（座長）　地域支援サービスまあぶる　望月氏静岡市清水手をつなぐ育成会　佐野氏　静岡市発達障碍者支援センター　山川氏 |
| 活動内容 | １．強度行動障がい者支援施設サポート事業の実施　① 入所施設サポート　【事業概要】　　強度行動障がい者の支援を専門とするコンサルタントを派遣し、現に入所し処遇に困難を来している方への支援を実践で行い、個別サポートの積み重ねにより施設及び職員の支援力向上を図る。【対象】　　　 入所系事業所（宍原荘〔清水区〕：H30-32 モデル施設として集中的に実施）【実績】　　 　４回実施、コンサルタント：水野敦之氏（社会福祉法人つつじ）② 通所施設サポート【事業概要】　　在宅の障がい者が通所する施設にアドバイザーを派遣し、障がい者や家族への支援方法等を実践で指導する。また、市内施設を対象とし「検証会」を開催。サポートした支援の紹介、検証等を行い市内施設の支援技術の向上、ノウハウの共有を図る。【対象】　　　 通所系事業所（生活介護、放課後等デイサービス、就労継続支援B型等）【実績】 　　　・通所施設サポートアドバイザー登録２人・３件実施中（個別事案）・１件実施予定（平成30年３月：通所施設対象の講演）③ 検証会【事業概要】　　強度行動障がいについての理解・対応、施設サポート支援内容の紹介、事例検証、支援技術の共有等を内容として検証会を実施【対象】 市指定障害福祉サービス事業者等に従事している者【実績】　　　 検証会　３回実施 ア　平成29年７月11日（駿河区）26人　　　　　　　 　イ　平成29年７月14日（清水区）25人ウ　平成29年12月１日～２日（講演・演習）延べ281人（虐待防止講演会合同実施） |
| 今後の予定方向性など | 当該事業の活用に向け、引き続き呼びかけていく。 |

平成29年度　専門部会の活動について

|  |  |
| --- | --- |
| 部会名 | 地域生活支援部会 |
| プロジェクト名 | ヘルパー人材確保・養成プロジェクト |
| 目　的 | 障がいのある人の地域生活を支援していく上での地域課題について、相談支援事業における事例等を通じて把握し、不足している仕組み・社会資源を満たすための方策を検討する。具体的な課題として「ヘルパー不足への対応」をテーマとし、対応策について検討する |
| 役割・内容 | ヘルパー不足への解消に向けた対応策を検討、実施する |
| 部会員 | 自立支援協議会委員　萩原委員、斎藤委員関係機関障がい者ヘルパー事業所ネットワーク静岡　山本代表（座長）、ピロス　青野氏　まあぶる 望月氏、移動支援事業所：めぶきの会　百花園　相談支援事業所：障害者生活支援センター城東　ひまわり事業団　なごやか静岡市相談支援推進センター |
| 活動内容 | １．平成29年度第1回ヘルパープロジェクト（H29.7.20）　【協議内容】1. 課題の洗い出し

　　 ・身体介護ができる男性スタッフの不足・早朝、夕方の時間帯のヘルパー不足　　 ・土曜、日曜のヘルパーの確保の困難不足　　　・精神障がいに対応するヘルパーをフォロー、ケアすることが必要1. 意見

　　 ・静岡県介護福祉士会からは障がい福祉業界の状況を初めて知り、さらなる情報共有が必要との意見があった　　　・障がい者に対する知識があれば、介護事業所も協力は可能　　　・介護福祉士会の研修で障がいの内容（精神・知的・身体の違いなど）を話してほしい２．居宅介護ヘルパー向け研修会の開催【開催日】　　平成29年11月28日（火）　出席者15名【内容】　　　 冬季に流行が予想される感染症予防のため、「感染症について～蔓延を防ぐコツ～」をテーマとした研修会を開催、市内居宅介護事業所、市内介護保険事業所に向けて周知。【講師】 　　 重症心身障害児・者施設つばさ静岡　医務部長　浅野一恵医師 |
| 今後の予定方向性など | 〇ヘルパー利用のガイドラインの作成　　・事業者向け（障がいのある方とのお付き合いの仕方）　　・利用者向け（ヘルパーの利用の仕方）〇課題を整理し、引き続き具体的な対応を協議していく。 |

平成29年度　専門部会の活動について

|  |  |
| --- | --- |
| 部会名 | 地域生活支援部会 |
| プロジェクト名 | 地域生活支援拠点プロジェクト |
| 目　的 | 障がいのある人の地域生活を支援していく上での地域課題について、相談支援事業における事例等を通じて把握し、不足している仕組み・社会資源を満たすための方策を検討する。具体的な課題として「地域生活支援拠点」をテーマとし、その地域における役割について検討する |
| 役割・内容 | 地域生活支援拠点の地域における役割等を検討する |
| 部会員 | 自立支援協議会会長静岡福祉大学　福祉心理学科　渡邊准教授（コーディネーター）自立支援協議会委員　檜垣委員　　遠藤委員　　岡庭委員静岡市障害者協会　　佐野氏委託相談支援事業所　 　（葵区・精神） なごやか　渡邊氏、石割氏（駿河区・身体）ピアサポート　李氏、劉氏（清水区・知的）わだつみ　加藤氏障害福祉サービス事業所　　サポートセンターそら　山本氏まあぶる　望月（晃）氏静岡市相談支援推進センター　堀越氏 |
| 活動内容 | １　第 ５回（H29.２.16）２　第 ６回（H29.３.13）３　第 ７回（H29.5.19）４　第 ８回（H29６23）５　第 9回（H29.9.7）６　第10回（H29.12.6）７　第11回（H30.2.1）〇「相談機能」の具体的内容について協議　　→　　役割に応じた機能の整理　〇「緊急時の受入れ機能」についてのグループワーク →　中長期計画案の作成　〇「体験の機会・場」についてのグループワーク　→　中長期計画案の作成〇面的整備の運営について（ネットワークイメージの共有）〇国の論点整理、他都市の整備状況についての情報共有その他・地域生活支援拠点等の整備に関する国のヒアリング（H29.10.19）　　本市が検討しているネットワークの概要について、厚生労働省及び調査受託者のヒアリングを受けた。 |
| 今後の予定方向性など | 地域生活支援ネットワークのイメージ　　・・・　P７今後の取組（中長期計画案の概要）・・・　P８ |

　　　

　　　

平成29年度　専門部会の活動について

|  |  |
| --- | --- |
| 部会名 | 地域移行支援部会 |
| 目　的 | 精神科病院に入院している方、または、障害者支援施設等に入所している方が、地域で生活するために必要となる支援体制の整備等障がいのある方の地域移行の推進に係る課題や手法等を協議する。 |
| 役割・内容 | 市内精神科病院に長期入院している精神障がいのある方の地域移行や地域生活支援に係る課題の抽出・検討、事例の検証、課題解決のための仕組みづくりを行う。※身体障がい、知的障がいのある方の地域移行支援については、今後検討していく予定。 |
| 部会員 | 自立支援協議会委員：岡庭委員（部会長）関係機関：静岡県精神科病院協会、日本精神科看護協会静岡県支部、静岡県弁護士会、静岡県作業療法士会、静岡県精神保健福祉士協会、精神障がい者家族会、民生委員児童委員協議会、基幹相談支援センター、精神系相談支援事業所、就労系障害福祉サービス事業所、ワーキンググループ長、（当事者）※当事者については、今後ピアを育成していく過程で部会員として選出する予定。第2回部会では、オブザーバーとして参加。 |
| 活動内容 | １　地域移行支援部会（開催：年２回）○第１回部会（平成29年６月６日）【協議内容】①退院支援専任相談員の取り組み状況と課題について　　　　　　　　②地域移行支援ワーキンググループの取り組み状況と課題について　　　　　　　　③地域移行支援部会員（当事者）の選出方法について○第２回部会（平成30年１月16日）【協議内容】①退院支援専任相談員の取り組み状況と課題について　　　　　　　　②地域移行支援ワーキンググループの取り組み状況と課題について　　　　　　　　③第５期障害福祉計画における地域の精神保健医療福祉体制の基盤整備について２　精神障がい者地域移行支援部会ワーキンググループ（開催：月１回）・地域移行に係る課題解決に向けた取り組みとして、以下の3グループに分かれて協議等を行う。Aグループ：新たな長期入院（ニューロングステイ）の防止⇒支援者向け施設見学ツアーの実施(4回)、家族会との意見交換会の開催(2回)、退院阻害要因等に関する調査の試行実施(1回)Bグループ：ピアサポーターグループの設置と活動の場の確保⇒ピアサポート連絡会の開催(月1回)、ピアサポーターによる「語り場」の開催(1回)、県内のピア活動グループとの交流会への参加(1回)Cグループ：対象者及び支援者の意欲喚起⇒地域移行に関する院内研修会の実施(2回)、宅建協会との意見交換会の開催(1回)居宅介護支援事業所へのアンケート調査の試行実施(1回)・相談支援事業所に配置した退院支援専任相談員の活動報告を通して、事例の検証、地域課題の抽出、課題解決に向けた対応策の検討等を行う。 |
| 今後の予定方向性など | ・2～3月　精神障がい者地域移行支援部会ワーキンググループの開催・地域移行に係る課題解決に向けた取り組み、退院支援専任相談員の活動に係る目標の見直し |